

ICT活用教育

中学校 1 年 英語

発音に気をつけて音読しよう！

実践事例 NO.69

発行：伊那市教育委員会学校教育課

編集：ICT活用教育推進センター

今していることについて説明したり、たずねたりできるようになる

英語の授業では、デジタル教科書（指導者用および学習者用）が導入され、これにより教師の指導方法や子どもたちの学びの様子が大きく変わりつつあります。学習者用デジタル教科書には、例えば読み上げ速度を調節するバーがあり、子どもたちそれぞれが、自分に合った速度で英語の音声を聴くことができるようになっています。

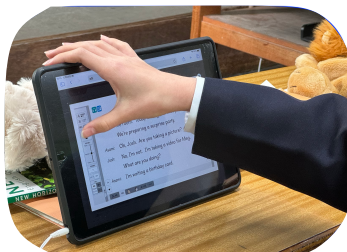
このデジタル教科書には、教科書本文の音読に苦手意識を持つ生徒が克服するのに役立つ機能が組み込まれています。学習者は、学習者用デジタル教科書を使用して音読練習を行ったり、ペアでの音読練習を通じて、自信を持って本文を音読したりすることを目指します。



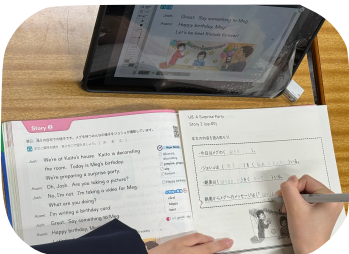
①活動のペアを確認し、挨拶カードを使用してSmall Talkを行います。その後、英単語BINGOを行います。進行中はペアと協力して進めます。



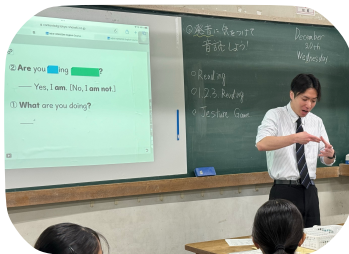
②「発音に気をつけて音読しよう！」という学習活動の目標を確認した後、学習者用デジタル教科書を使用して音読練習を行います。



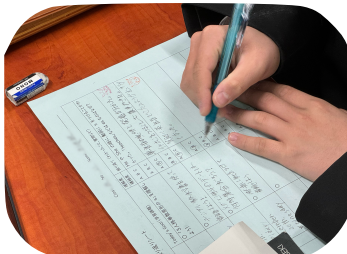
③学習者用デジタル教科書で、「選択」「速度の調整」を行い、何度も聞き直しています。イヤホンをつけて、個別で粘り強く音読練習を行いました。



④学習プリントの「本文の内容を読み取ろう」の欄に書き込みながら、本文の概要をつかんでいきます。その後、文法事項の確認を行いました。



⑤指導者用デジタル教科書の「めくり紙」機能を使用して、生徒が発する英語を提示し、ジェスチャーゲームを行います。生徒は教師のジェスチャーに引き込まれていました。



⑥本時の振り返りをカードに記入していきます。「今、何をやっているか」を確認する方法が理解できたかなど、Today's Goalを思い出しながら振り返るように促します。

西箕輪中学校 英語科 唐澤 徹 先生の実践をもとに推進センターで編集させていただきました

伊那市学力向上検討委員会の先生方と

「ICT活用教育」について考える

伊那市学力向上検討委員会では、「授業での有効活用に関する研究」を行っています。今年も委員の先生方に協力をいただき、学校の授業を公開していただいています。

今回は、西箕輪中学校の唐澤徹先生の授業に参加し、学びを共有しました。



生徒がイヤホンを使い自分のペースで音読練習



個人練習の次はペアでの音読練習

参加された委員の先生方のご意見を紹介します

・非常に素直な子どもたちの活動を参観させていただきました。和やかな雰囲気の中で進む授業は、日頃から行われている丁寧な授業づくりの成果を感じました。

・指導者用と学習者用を工夫しながら活用することに挑戦する授業を参観させていただきました。現在、学習者用は全ての学校で利用可能なのですが、なかなか上手に使われていないのが現状だと思います。そうした意味で今回の授業は様々なヒントをいただいたように感じています。私たちもデジタル教科書を活用した基本的な授業展開を学んだ上で、授業づくりを行なっていくことが大切だと感じました。また、「学力向上検討委員会」として取り組む必要性も感じています。

・学習者用を活用することによって個別最適な学びが生み出されています。この後の展開として、「自分で録画する」などして先生に提出するなどすれば個々に合わせた指導が受けられるようになります。

・指導者用の中にある「絵カード」を活用すると、目的・場面・状況に応じた「言語活動」を行うことができます。また、それに伴う単語を身につける手助けとすることができます。会話の場面がイメージできると「会話する意味」がわかり、「発音」に工夫が見られるようになります。デジタル教科書にはそのような工夫がされていると思います。

・英語の授業はICTを活用することで大きく変わりました。たくさんの教材の荷物を教室まで運ぶ授業から、iPadひとつで授業に向かえます。教材作りにしても短時間でできるようになっています。しかし、学びについては昔も今も基本は変わりません。デジタル教科書を使った基本の授業展開を抑えた上で、デジタル教科書の活用から飛び出していけることによって、もう一段先の授業づくりがあると感じています。

・西箕輪中学校での授業づくりへの意気込みを感じます。全員の生徒にイヤホンを配布して授業をより良いものにしていこうという取り組みは、情報委員の先生や各教科の先生の後押しで実現したと聞きました。授業を参観する先生方も子どもたちの活動の様子を丁寧に見ていらっしゃいました。学校全体で一つの授業を創り上げる空気を感じました。

・デジタル教科書が一般的に活用されるようになり、改めて有効な活用法の研究が必要だと感じさせられました。本校でも学力向上検討委員会の皆さんに授業を公開し、共に学んでいきたいと感じます。伊那市内で掲示板やチャットを活用して授業アイデアを共有したり、教材研究ができる仕組みがあればありがたいと思います。

※ここでは、指導者用デジタル教科書を「指導者用」、学習者用デジタル教科書を「学習者用」と記述しました。

伊那市では、「学校教育情報化ビジョン2021」をもとに、iPadを導入して「ICT活用教育」を推進しています。

伝統的
学びを深めるICT活用

先進的
学びに導くICT活用

「Society5.0」時代の
学びを支える教員

個別最適な学び・対話的学び
創造性を育む学びの実現